



VOL.272

里山ワラブ可児

2023年4月1日発行

発行所：里山クラブ可児

発行人：堤 喜治

編集人：柿元 章吾

## 水プロ | 3月1日 | 参加者：12名

春めいてきました。ハナモモの蕾も陽気に誘われて緩んできました。アセビ(馬酔木)は白い可憐な花を咲かせています。

この日の作業は、電柵の更新作業です。面積が広いので張り替えるのも大変ですね。また、池の欄干作りは棟梁を中心着々と進んでいます。オカリナの会の先生が差し入れを持って、様子を見にきてくれました。4月から活動再会とのことです。



▲電柵の更新作業



▲現場合わせが真骨頂。ミリ単位で微調整

## 水プロ | 3月8日 | 参加者：12名

一気に春めいてきました。アセビも満開？さて、どこに生えているでしょう、見つけてみてください。



▲ひと足先に花を咲かせるアセビ

森のデッキで昼食をとっていると、汗ばむほどの陽気、Tシャツ一枚でもOKです。

さて、この日の作業は田んぼへの堆肥撒き。また、雨が降らないので田んぼも干上がっています。そこで、ポンプでビオトープ池から水を引きました。



▲風下で鶏糞を撒くと大変です、マスクをしての作業



▲防火訓練でもないんだけど



▲田んぼが潤っていきます



▲池の栈橋欄干も完成しました



▲芝生管理人は芝の手入れ

午後からは、竹林整備を行いました。あとはタケノコが芽を出すのを待つばかりです。

## 水プロ | 3月15日 | 参加者：12名

暖かく最高の活動日和でした。先日、岐阜愛護隊さんが伐採したスギ、ヒノキを製材所まで搬出・輸送しました。製材された木材は農機具小屋の屋根構造材として使用予定です。



▲搬出・運搬は重労働！



▲女性会員もベテランおじじも一緒にドリルで穴あけ

過日の雨で椎茸が大分出てきました。椎茸原木への植菌作業も張り合いがあるというものです。約 70 本。残りは約 50 本、19 日の総会午後に植菌予定です。

このところの陽気で里山の佐藤錦（桜）が満開です。ダンコウバイ（黄色）、テラス下のハナモモも急に咲いてきました。先般植樹した苗木からも花が咲きました。里山は、一気に春の装いを始めています。」



▲ほのかな黄色、ダンコウバイ

▲咲き出したよハナモモ

## 例会（総会） | 3月19日 | 参加者：28名



▲プロジェクトを用いペーパーレス説明を行う堤代表

この日も快晴の中、我田の森の管理棟にて令和4年度の総会が開かれました。以下は当日のアジェンタです。

- ・代表挨拶「令和4年度の活動を振り返って」
- ・令和4年度年間活動報告
- ・令和4年度「田んぼビオトープ保全活動」報告
- ・令和4年度里山クラブ可児会計報告
- ・令和5年度年間活動計画案
- ・令和5年度「田んぼビオトープ保全活動」提案
- ・令和5年度役員、運営委員の選出
- ・今年度の反省、次年度計画等に対する提案等

堤代表及び事務局より報告がありました。また、今後の課題や作業予定について話し合いました。

総会後もホダ木への菌打ち作業が行われ、女性会員もガンガン打ち込んで全て完了することができました！



▲ドリルもガンガン使いこなす女性会員

また、見学者も 2 名あり「本日は、とても丁寧に案内して頂きありがとうございました。素晴らしい森に心から感動しました！」とのメッセージをいただきました。

## 水プロ | 3月22日 | 参加者：12名



▲春の花が咲き誇る里山風景のなか苗代作り

総会の直後の水プロですが、12 名の会員が快晴のもと集まりました。

さて、早くも田んぼ作業の始まりです。苗床を整備し種糞を撒けるよう準備です。田んぼを踏み起こし、枯れた株を掘り、畝を作りました。



▲鋤で株を掘り起こします



▲田んぼの泥も厭わず苗床作りが進みます



▲田んぼから這い上がるタイコウチ ▲満開のハナモモ

里山はいよいよ春を迎えました。田んぼからは虫たちが這い出し、植物は短い命の花を可憐に咲かせます。そんな風景を楽しみながらの作業は快適です。が、この日は初夏を思わせる陽気で暑い1日となりました。



▲ハナモモの枝を摘み花を飾ります



▲花の命懸けショウジョウバカマ

## 例会 | 3月26日 | 参加者：18名

当日は二日続いた朝から雨、しかも終日雨予報。驚きです！なんと18名が管理棟に集結しました！

女子会に加え、4月から新しく社会人生活を始めるため、遠方の引越先から来てくれた会員もいました。また、総会と間違えて来たベテラン会員も久しぶりに参加されました。

雨足も早く作業はできません、皆でまつりと歓談しました。このところの雨で椎茸が豊作で皆で分けました。また、保管していた里芋も皆で分けました。

大鹿棟梁と丸山技師は、夢工房の製材機の改造・修理を検討していました。(写真はありません)

## 水プロ | 3月29日 | 参加者：13名

今年度最後の水プロです。この日も快晴。学校が春休みなので会員のお子さんも活動に参加しました！

水プロ最終日は、次年度R5年に向けた大切な準備を行いました。お米の苗床への種まきと、里芋の親芋を植え付ける作業です。



▲畑に保管しておくことにびっくり



▲大きな種芋は深く掘って植えます

午前中に、畑にひと冬保管しておいた種芋を掘り出しておきました。午後に植え付けです。意外に深く掘らないといけないので大変です。また、穴に置いた種芋に直接鶏糞を撒いてから土を被せることを里山ファームのマスターに教えていただきました。



▲苗床になる田んぼの整地をします



▲田んぼに裸足で入って種まきをする小学生会員！

さあ、いよいよお米の種まきです。田んぼを整えてから手でパラパラと苗床全体に蒔いていきます。



▲覆土を撒き終えた苗床



▲シートを被せ発芽を促します

種をまいた後、苗床の乾燥を防ぎ栄養分もある、覆土（ふくど）で満遍なく苗床を覆います。最後にシートを被せて苗床の完成です。5月の田植えまで、ここで苗がスクスクと育ってくれることを願います。

たくさん作業をしたこの日でしたが、最後に大仕事が待っていました。水場の奥で伐採した生木を運び出す作業です。2m程度位に切ってあっても物によっては100kg以上はある生木。6人掛かりで搬出です。しかもなんと、この重労働に女性会員も参戦しました！写真がないのが残念。お疲れ様でした！

#### ■令和5年3月度の我田の森への入山人数

1. 里山クラブ可児会員	107人	（累積：1,005人）
2. 自然育児こどもの庭（親子）	83人	（累積：1,433人）
3. 講座（なし）	0人	（累積：152人）
4. 行事（なし）	0人	（累積：131人）
5. 外部団体（見学者）	2人	（累積：91人）
6. 協力団体（岐阜県森林愛護隊）	7人	（累積：74人）

令和4年度の累積入山人数：2,886人

#### ■令和5年4月度の活動予定

- 例会：16日（日）、23日（日）  
遊歩道「1号～4号」の整備、薪作り、管理棟壁面及び森のステージ塗装保全、他
- 水プロ：5日（水）、12日（水）、19日（水）、26日（水）  
苗代の苗管理、棚田・水路の保全と改良、ビオトープ池桟橋湯床板修理、他
- 講座：22日（土）森の学校（春）石焼ピザ作り体験と新緑の里山散策
- 行事：なし



▲完成した苗床と里山の風景



▲つく～しの子が恥ずかしげに、顔を出します。もうすぐ春ですね～

田んぼや畠の準備も無事終えました。

なお、昨年R3年度の累積入山人数は、2,637人、R4年度は2,886人となり、249人も入山数が増えました。

R5年度（ニーマルニーサン）もこの「里山たより」で、我田の森での出来事をお伝えしていきます。よろしくお願いいたします。